

チームオレンジ ～ このまちで自分らしく生きていく ～



1.基本情報(令和7年12月現在)

市・町名	川棚町		
人口	高齢者人口	高齢者率	面積
12,643人	4,622人	36,5%	37,25km ²

2.チームの概要

チーム名	(今後決定します)		
開始時期	R7年 4月 24日 ～		
実施主体	☐ 市町 ☒ 地域包括支援センター ☒ 住民・ボランティア ☐ 社会福祉協議会 ☐ その他 ()		
チームオレンジ コーディネーターの属性	認知症地域支援推進員(地域包括支援センター)2人		
メンバー構成	よらんねカフェサポーター8人		
活動頻度	月1回(第4木曜日13:30～15:00)		
チームオレンジの類型	☐ 第1類型 共生志向の標準タイプ ☒ 第2類型 既存拠点活用タイプ ☐ 第3類型 拠点を設置しない個別支援型タイプ ☐ その他		
チームオレンジ三つの基本について	☒ 3つの基本を満たしている ☐ 3つの基本は満たしていないものの仕組みが構築されている。		
運営財源	☐ 市町からの委託 ☒ 市町からの補助 ☐ 会費・参加費 ☐ その他 () ※上記の財源 ☐ 市町一般財源 ☒ 地域支援事業交付金 ☐ その他 ()		

3. チームオレンジの設置に至ったプロセス

よらんねカフェは、令和3年度より、川棚町包括支援センター職員と川棚町SCが主体となって、毎月1回の認知症ご本人と家族の居場所として認知症カフェを開催してきた。令和5年11月には、ステップアップ講座を開催し、よらんねカフェをもっと沢山の方に知って欲しいという思いを担当者より伝え、賛同して下さる認知症サポーターを募った。その後、サポーターの輪が広がるとともに、新規参加者(本人含む)も少しずつ増えており、今後もサポーターや本人、家族と共によらんねカフェを作っていきたい思いから、チームオレンジ設置に至った。

4. 活動内容

・よらんねカフェの運営(企画、お話し相手)



5. 活動を進めて行く上で工夫したこと・配慮したこと

毎月のミニ企画を、サポーターや参加者と一緒に行っている。カフェが終わった後は、毎回サポーターと振り返りを行い、参加者の様子について共有したり、サポートできることがないか話し合いを行っている。

6. ステップアップ講座の開催状況・講座内容について

令和7年11月にステップアップ講座を開催した。受講対象者は、令和4年度以降の認知症サポーター養成講座受講者に広く呼びかけ、川棚町の認知症施策や、よらんねカフェの実践報告、地域共生社会やチームオレンジについて、多くのサポーターに知って頂く機会となった。

7. 活動してきたことで得られた効果・見えてきた課題

【効果】

- ・悩みごとを抱えている参加者に対し、継続的に関わることで、参加者がより元気に地域生活を送れるようになった。
- ・よらんねカフェを知って下さり、介護者・本人ともに参加者が増えた。

【課題】

- ・よらんねカフェに参加をしていない方で、認知症で悩んでいる家族や本人がいる。

8. チームのアピールポイント

「よらんねカフェ」は、令和3年度より、活動を開始しました。カフェを支えるサポーターの皆さんは、カフェだけでなく、川棚町の介護予防事業やボランティアグループでもご活躍されています。よらんねカフェは、「誰でも気軽に集えて、ほっとできる居場所」。認知症になっても安心して暮らせる川棚町を目指して、今後も楽しく活動していきます。

9. 今後の活動について

『認知症になっても安心して暮らせる川棚町』を目指して、より多くの方によらんねカフェを知ってもらい、必要な方に届けていきたい。これからも、サポーター、本人、介護者みなで、よらんねカフェは活動していきます。また、川棚町内にチームオレンジの活動も広がってきたい。